

テーマ：貿易統計（2010年5月）
～輸出の増加ペースが鈍化～

発表日：2010年6月24日（木）

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主任エコノミスト 新家 義貴
TEL：03-5221-4528

	貿易収支(億円)				輸出数量						輸入数量					
	原数値	季調値	輸出金額		前年比	アメリカ			前年比	EU			前年比	アジア		
			前年比	前年比		前年比	前年比	前年比		前年比	前年比	前年比				
08	1月	▲1063	9788	7.7	9.5	7.7	▲3.1	3.4	11.9	0.7	▲7.1	▲1.7	1.7			
	2月	9358	6810	8.7	10.7	14.3	1.8	8.6	21.7	▲1.0	▲0.5	0.6	▲2.9			
	3月	10962	6123	2.2	11.4	5.9	▲3.4	5.5	7.9	4.3	▲8.4	2.9	12.5			
	4月	4587	2808	3.9	12.2	7.3	▲0.5	3.8	12.2	5.8	▲6.2	4.2	5.6			
	5月	3411	3835	3.6	4.8	6.6	▲0.4	0.1	10.5	▲3.4	▲11.0	▲7.3	▲4.8			
	6月	1041	▲255	▲1.8	16.7	▲1.5	▲8.6	▲8.9	1.1	4.4	11.9	1.9	2.0			
	7月	819	1346	7.9	18.2	8.9	▲5.3	3.1	12.1	2.2	▲1.9	▲11.2	0.9			
	8月	▲3142	▲1578	0.2	17.1	▲1.0	▲18.9	1.7	2.6	▲4.5	1.4	▲8.1	▲5.2			
	9月	910	741	1.5	28.8	▲0.6	▲12.2	▲8.1	1.2	6.1	5.0	4.0	9.9			
	10月	▲752	▲1271	▲7.9	7.4	▲6.9	▲17.4	▲10.4	▲2.8	▲2.4	▲18.3	▲6.0	1.8			
	11月	▲2275	▲3276	▲26.8	▲14.4	▲22.7	▲28.5	▲16.8	▲22.4	▲10.7	▲12.2	▲14.8	▲8.6			
	12月	▲3222	▲1921	▲35.0	▲21.5	▲29.9	▲31.3	▲29.7	▲30.7	▲7.1	▲16.1	▲10.6	▲5.6			
09	1月	▲9679	▲5642	▲45.7	▲31.8	▲40.9	▲48.6	▲42.0	▲39.1	▲11.8	▲22.8	▲15.3	▲10.8			
	2月	708	▲490	▲49.4	▲42.7	▲45.3	▲55.5	▲45.6	▲40.6	▲25.2	▲24.3	▲27.4	▲30.7			
	3月	▲54	▲1473	▲45.5	▲36.4	▲41.2	▲49.5	▲49.6	▲34.0	▲20.4	▲22.6	▲27.5	▲20.7			
	4月	490	▲1245	▲39.1	▲35.5	▲35.8	▲49.4	▲42.8	▲28.8	▲20.2	▲27.2	▲29.7	▲18.9			
	5月	2814	2606	▲40.9	▲42.2	▲36.2	▲46.9	▲40.2	▲27.6	▲23.9	▲34.9	▲28.7	▲23.1			
	6月	4870	4121	▲35.8	▲41.7	▲27.7	▲38.3	▲36.1	▲19.1	▲18.1	▲35.8	▲23.7	▲13.7			
	7月	3657	3286	▲36.5	▲40.6	▲27.6	▲34.7	▲36.4	▲18.6	▲14.9	▲30.3	▲24.3	▲11.5			
	8月	1652	3833	▲36.0	▲41.0	▲25.4	▲29.3	▲39.0	▲15.8	▲12.8	▲29.3	▲15.3	▲7.7			
	9月	5176	3752	▲30.6	▲36.8	▲21.8	▲27.3	▲31.7	▲9.5	▲10.1	▲22.1	▲19.1	▲7.6			
	10月	8001	5992	▲23.2	▲35.5	▲13.0	▲21.1	▲26.7	▲1.9	▲11.7	▲6.0	▲20.4	▲10.5			
	11月	3653	5291	▲6.3	▲16.7	▲1.5	▲6.2	▲18.5	11.9	▲2.0	▲9.9	▲4.2	1.6			
	12月	5425	6031	12.0	▲5.5	14.7	▲2.4	▲1.5	32.9	▲0.8	▲2.1	▲2.4	3.5			
10	1月	610	6388	40.9	8.9	41.3	18.2	14.1	63.7	2.2	3.6	▲0.6	5.6			
	2月	6473	5581	45.3	29.5	45.9	47.2	15.5	53.5	23.0	4.5	13.7	39.3			
	3月	9499	7006	43.5	20.6	43.9	30.9	28.4	49.0	16.9	6.4	16.6	17.5			
	4月	7405	5077	40.4	24.2	39.5	39.8	32.4	40.6	17.6	21.3	13.0	19.6			
	5月	3242	4161	32.1	33.4	31.9	20.3	34.8	28.3	22.3	24.5	22.3	27.4			

(出所)財務省「貿易統計」

○ 増加基調は続いているが、ペースは鈍化

財務省が発表した10年5月の貿易統計では、貿易収支が3242億円となり、事前の市場予想(4637億円)を下回った。輸出金額が前年比+32.1%と、4月の同+40.4%から伸びが鈍化したことがコンセンサス下振れの主因である。季節調整済前月比(財務省公表値)でも、輸出金額は前月比▲1.2%(4月+2.3%)と減少しているほか、物価変動の影響を除いた実質輸出でも5月は前月比▲1.9%(4月同+4.6%)となっている(実質化と季節調整は当社)。実質輸出の4-5月平均の水準は1-3月期平均を3.9%上回っており、均してみれば輸出が引き続き増加基調にあることは変わっていないが、09年10-12月期の前期比+7.3%、10年1-3月期の同+8.6%と比べると伸びが鈍化していることは否めない。リーマンショック以降の急激な落ち込みからの在庫復元効果が一巡しつつあることから、輸出の増加ペースが徐々に鈍化していると判断される。内訳では、アジア向け(特に中国向け)輸出の鈍化が目立っており、5月単月では前月比で減少している。アジア各国の経済指標は依然として良好な内容のものが多いため、今月のアジア向け輸出の減少は一時的なものである可能性もあるが、気になる動きであることは間違いない。

一方、輸入金額については、5月は前月比+0.4%(4月同+6.4%)と2ヶ月連続で増加した。輸入数量が緩やかに増加していることに加え、原油価格の上昇によって押し上げられている面も大きい。また、物価

変動の影響を除いた実質輸入では前月比+0.7%（4月：同+1.7%）と増加し、4-5月平均の水準は1-3月期を2.4%上回っている。09年10-12月期の前期比+1.7%、10年1-3月期の同+1.8%から伸びを若干拡大させており、国内景気の持ち直しを反映して輸入が緩やかに増加していることが確認できる。

輸出の伸びと比較すると輸入の増加ペースは依然として限定的であり、4-6月期についても外需が成長率の押し上げ要因になるとみられる。もっとも、輸出の増加幅自体は1-3月期から鈍化しているため、4-6月期の外需寄与度は1-3月期（前期比寄与度+0.7%ポイント）から縮小する可能性が高いだろう。

○ アジア向け輸出の減速が懸念材料

地域別では、アジア向け輸出（実質、季節調整は当社）が前月比▲2.5%（4月：+2.0%）と減少したことが目を引いた。4-5月平均の値は1-3月期を0.3%上回る水準にとどまっており、1-3月期の前期比+11.2%から明確に減速している。今月は特に中国向け輸出が弱く、前月比では▲6.5%（4月同：+2.4%）と大幅に減少し、4-5月平均の値も1-3月期を1.3%下回った。輸送用機器の落ち込みが特に大きいほか、電気機械も鈍化している。アジア向け輸出の増加がこれまでの日本経済の回復を支えてきただけに、アジア向け輸出がこのまま減速していくようであれば、景気の先行きにとっても大きな問題になる。アジア経済が足元でも引き続き順調に拡大していることから考えて、今月の輸出減はさすがに行き過ぎとみられ、来月以降は再び増加に転じる可能性が高いと予想しているが、今後の動向を注視していく必要があるだろう。

米国向けについては、実質ベースの前月比が▲4.3%と減少したが、4月に同+5.8%と増加した反動の面が強い。4-5月平均の値も1-3月期を3.0%上回っており、均してみれば緩やかに持ち直している。

また、EU向けは前月比+1.4%となり、4月に前月比+9.9%と高い伸びだった後にもかかわらず2ヶ月連続で増加した。4-5月平均の値も1-3月期を7.5%上回っており、伸びはむしろ高まっている。欧州向け輸出については、欧州域内の景気減速や円高ユーロ安の進展から悪化が懸念されていたが、今のところ目立った影響は出ていない。そもそも、問題となっている南欧諸国向けの輸出が日本からの輸出全体に占める割合は1%強にとどまることに加え、ドイツ、フランスといった中核国については、金利低下やユーロ安の恩恵を受けることから大幅な景気の落ち込みは避けられる可能性が高い。問題が一部の国の財政不安にとどまっている限り、ユーロ圏全体の景気失速により日本の輸出が落ち込むという状況にはならないだろう。

